



エレベーター事故 「繰り返す危険性」

事故調、シンドラー事故受け

東京都で2006年に高層ビルに死亡したシンドラー製エレベーター事故で、消費者安全調査委員会(事故調)は30日、調査報告書を公表した。全ての新設エレベーターに「重なる」1重の設置を義務づけた09年以前に設置されたエレベーターでは、同様の事故が繰り返される危険性があるなど指摘。国土交通省などに対策強化を求めた。

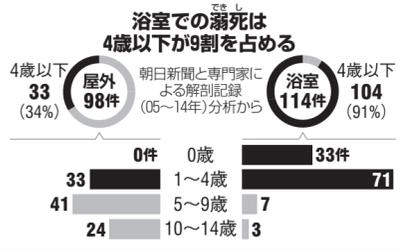
重い費用負担 改修進まず

09年9月に施行された改正建築基準法施行令は、新設エレベーターに1重の設置を義務づけた。国土交通省は補助金などの制度を作り、それ以前の既存機種のエレベーターも進めよう所望者から促す。

目離れた一瞬 浴槽に転落

水の事故

北海道の酪農地帯。農家の浴室で昨年、1歳の女の子が溺れて亡くなった。捜査関係者によると、午後8時ごろ、食事の用意をしていた母親が、だれもいない浴室から物音を聞き、駆けつけると浴室のドアが開き、女の子がベビー服のまま浴槽に溺れていたという。病院に搬送されたが、死亡が確認された。女の子は直前まで居間で遊んでいたが、家族と遊んでいた。父親がトイレに立った際、浴室に入ってしまったとみられている。女の子の身長は約73センチ。



泉田知事 立候補撤回

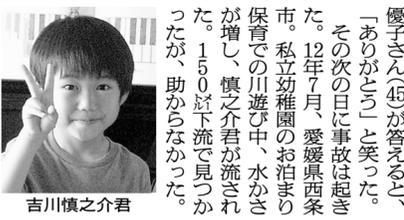
新潟知事選「訴え届かない」

10月16日に投票される新潟県知事選へ4選を目指す泉田知事は30日、立候補を取りやめる意向を示した。地元紙「新潟日報」の報道姿勢について、泉田知事は「県民に届かない」と訴え、自身の訴えを県民に届けることは難しいとして「知事選から撤退したい」と思っていると説明した。メディアとの対立を理由に政治家が立候補を撤回するのは異例。県幹部は「正を申し入れ、泉田知事も

められている。二重プレキヤ耐震補強を行う。改修には最低1基1週間かかる。費用負担は重い。プレキヤの後付けは1基200万円程度だが、「本体ごと換えないと取り付けられない機種が多い」と大手エレベーター会社。ため、1千万円を超えることも。機材は13年から全国で改修が始まったが、対象は6900基あるエレベーターの

鍵・ふた 複数対策を

消費者庁によると2014年に起きた14歳以下の「不慮の事故死」371件のうち、水に溺れた事故は80件で3番目に多かった。特に危険なのは、浴室のドアから2歳ごろまでとされる。幼児の年齢・身長と事故の関係を調べるため、国民生活センターと田中哲郎・東京工科大学教授が人形を使って行った実験では、



2歳児の場合、浴槽の高さが床から50センチなら99.9%が転落を防げず、高さ45センチだと50%しか防げなかった。一方で、高齢者が入りやすいよう、浴槽をなすべく低くするバリアフリー化の動きもあり、最近のユニットバスは高さ40センチ前後が多い。子どもは大人に比べて相対的に頭が重く、浴槽をのぞき込んだ時に転落し

屋外も注意

大好きなピアノ教室に向かう車の中。吉川慎之介君(当時5)は突然言い出した。「お母さん、僕が生まれてうれしかったよ。」「もちろん! すごくうれしかったよ。母の吉川慎之介(仮名)が答える。「ありがと」と笑った。「その次の日に事故は起きた。12月7日、愛媛県西条市。私立幼稚園のお泊まり保育での川遊び中、水かさが増し、慎之介君が流された。150センチ下流で見つけたが、助からなかった。



「小さないのち」への意見や体験をお寄せください。メール: ashi_forum@ashiho.com / フォン: 03-6304-1820 / 03-6304-1111 (所在地不詳) 新聞オピニオン編集部「小さないのち」係へ



「福島事故の検証と総括が必要だ」と主張。再稼働に慎重な姿勢を続けていた。売買契約のトラブルについて、この日、記者団に「私がかかったのが、原子力防災、原発の議論がしやぶるな」と述べた。

7月7日に83歳で亡くなったタレント作家の永6(仮名)は、妻の永6(仮名)と別居していた。永6(仮名)は、妻の永6(仮名)と別居していた。永6(仮名)は、妻の永6(仮名)と別居していた。

「永さんがいない世の中つまらない」

110人がお別れ

永藤理人(仮名)は、妻の永6(仮名)と別居していた。永6(仮名)は、妻の永6(仮名)と別居していた。

今回の知事選では2月に立候補を表明。共産を除く主要政党に推薦を依頼した。前回同様候補者を擁立するなどの共産、原発再稼働への慎重姿勢を評価し、候補者擁立を控える方針だった。10日には森民夫・長岡市長(67)が無所属で立候補を表明している。

「福島事故の検証と総括が必要だ」と主張。再稼働に慎重な姿勢を続けていた。売買契約のトラブルについて、この日、記者団に「私がかかったのが、原子力防災、原発の議論がしやぶるな」と述べた。

7月7日に83歳で亡くなったタレント作家の永6(仮名)は、妻の永6(仮名)と別居していた。永6(仮名)は、妻の永6(仮名)と別居していた。

「永さんがいない世の中つまらない」

110人がお別れ

永藤理人(仮名)は、妻の永6(仮名)と別居していた。永6(仮名)は、妻の永6(仮名)と別居していた。

旅行代理店「メキシコ」の広告。メキシコ旅行の魅力を伝えるためのテキストと写真。

NHK「猫のしっぽカエルの手」の広告。ベニシアさんの自然豊かな暮らしに密着したNHKの番組が一冊に!!

別冊宝島 最新刊!! 高野山 1200年の歴史舞台を歩く。日本書紀に隠された歴史の裏側に迫る!

「冷え」から家族を守るため オイル温熱療法。冷える体は免疫力が低下し、病気を招く。オイル温熱療法で体を温め、免疫力を高めよう。